

8月23日定期連絡会議事録

記録：情報システム部 福里

- ・日時：8月23日（水） 19：30-21：00
- ・参加者15名（敬称略、順不同）：
足立万理子、石川綾子、櫻井芳寛、杉山初江、東海林 修、迫 一美、竹原 貢、
田中清治、辻 昭彦、露久保孝一、中田幹雄、広瀬富子、福里清信、宮坂きよ子、
吉浜健二

議題

1. 話題提供について（記録：辻）

- （1）日時：2023年9月9日（土）
 - ・講演会：13：00～13：40 前半
休憩 5分
13：45～14：30 後半
休憩 10分
 - ・懇親会：14：40～15：30（予定）
- （2）形式：Zoomによるオンラインで行う
Zoomホスト：総務部長 辻 昭彦
- （3）演題：前半：「終活の意義と相続」
後半：「片付けについて」
概要：終活の意義は何か、を基軸にし、人々の関心が深く、質問も多い「相続」
「片づけ」についての講演を予定。
- （4）講師略歴
講師：薩野 京子（H17年文）
資格：終活カウンセラー協会認定終活講師
整理収納アドバイザー
- （5）参加申し込み
参加希望者は、話題提供、懇親会（オンライン）のそれぞれについて、9月3日（日）
までに連絡をもらう。
- （6）案内
役員・顧問MLと三田会便りで告知する。

2. 会員管理：会費未納者に関する対応（田中部長）

- 会費未納者とは…
 - ① 今期または今期および前年期、前々年期からの会費未納者

② 8月31日時点で前回振込日から1～4年以上経過した者。

➤ 未納会員数 44名

- ・今期末納者 26
- ・2期末納者 12
- ・3期末納者 6

➤ 会費納入会員数 (2023年度名簿登録数：297)

- ・2023年度 254
- ・2022年度 253
- ・2021年度 248
- ・2020年度 236

* 振込会員数は増加傾向

➤ 会費未納者に対する対応：

・従来は振込用紙を同封して、会長名で会費振込のお願いを郵便で毎年同じ手順で実施。昨年は10月、今年は1月と5月に実施。

➤ 今年度からの田中案：

・振込用紙は発送せず、未納者全員（44名）に対して今期会費2000円を9月末までに振込依頼の往復ハガキを郵送。ただし、今期会費のみ。2，3年分の未納会費は要求しない。往復ハガキでは同時に以下の確認も行う。

- ✓ 退会か会員継続かなどの本人の意思確認
- ✓ 未返信者は退会の意思表示者として対応

意思確認を行う主な理由は以下の通り。

- ・入院していて対応が出来なかったなどの事情がある会員の意向を聞く機会を与える。
- ・意思確認をすることで相互の誤解を解いて、理解を深める機会にする。
- ・会員の会費納入の実態がバラバラなので、役員の実務で入金管理の統一化を行う。
- ・会の活動は会費によって実施、維持できている。

<会費納入および田中案に対する意見>

- ・田中さん案のような対応は必要だと思う。(中田、宮坂、他)
 - ・藤沢三田会ではメールや郵便で督促状を送り3年間未納の場合は退会扱いとする。(櫻井)
 - ・未納者に対して意思を確認することは必要だと思う。(竹原)
 - ・過去に未納者に対して振込用紙を送付した際に一部の人から反発を受けたが、今回の対応は以前よりも強い気がするが大丈夫かどうかは気になる。(宮坂)
 - ・会則に退会規定がないことが問題ではないか。(中田)
 - ・会則に3年以上会費未納の場合は退会とするという規定があるはずだ。(櫻井)
 - ・現在の会則には退会規定がない。(中田)
- ⇒ HPで会則には退会規定がないことを確認。

・会則の 11 条（会費・会員）に関しては 9 月以降の例会で再度議論するようにしたい。（竹原）

⇒ハガキの文面を確認する（文面に関しては会長、田中さんで再確認）。→実施で合意。
ハガキは来週末までに発送する。

3. 10/4（水）、10/11（水）の役員会に向けて（竹原会長）

・10月の予備役員会、役員会に向けて9月の例会で以下の点について議論を行いたい。

- ① 会報発行時期の見直し（5月、10月 → 1月、8月）
- ② 郵送会員向け情報ダイジェスト版の発行（不定期）
- ③ 会則 11 条（会費と会則）の表現見直し
- ④ 通信教育部解説 75 年記念事業募金への神奈川通信三田会としての対応検討。
 - ・個人での寄付は各人の判断で実施。
 - ・個人寄付とは別に神奈川通信三田会として寄付を検討したい。
- ⑤ 来年度に向けて、各部門の行事計画の立案
 - ・予算計画も含めて各部門の行事計画の案を提出して欲しい。
- ⑥ 役員会への各部所属の役員の参加勧誘。

以上